



発行所  
自衛隊長崎地方協力本部  
長崎市出島町2番25号  
TEL. 095-826-8844

本年もよろしくお祝い申し上げます 令和5年 元旦

## 新年のご挨拶

自衛隊長崎地方協力本部長  
1等海佐 伊東 圭市



皆様、明けましておめでとうござい  
ます。  
旧年中は、皆様から自衛隊長崎地方協  
力本部への温かいご支援ご厚情を賜り、  
深く感謝申し上げます。

長崎地方連絡部として創設以来67年  
の長きにわたり、この長崎の地において  
走り続けてこられたこと、また、地本部  
員が自らの職務に誇りを持ち、活動でき  
ましたのも、皆様からのご協力の賜物で  
あり、改めて御礼申し上げます。

令和4年12月1日付で第37代本部長と  
して着任しました伊東です。長崎での勤  
務は初めてとなりますが、この歴史ある  
地で各種協力団体等の皆様と一緒  
に仕事ができることを楽しみにしており  
ます。そこで、新年のご挨拶とともに着  
任に当たり掲げた統率方針及び要望事  
項について紹介させていただきます。

私が当地方協力本部長として勤務する  
に当たつての統率方針は、歴代の本部長  
の意志を継承し「県民とのかけはしにな  
る」とし、また、統率方針を実行するにあ  
たり部員に要望する事項として「連携」  
をあげました。

我が国を取り巻く安全保障環境は  
日々厳しくなりつつあると言え、昨今の  
安全保障能力強化の議論に至っている状  
況です。また、ひとたび国家の安全保障

上の危機が生じた際には、すぐさま多く  
の影響が国民の皆様にも及ぶことも、現在  
の国際情勢を見れば明らかかとござい  
ます。

このような情勢下で防衛省・自衛隊が  
任務を達成するためには「組織を支える  
人」の充実が最も重要であり、採用から  
援護、予備自衛官まで幅広く取り組む  
我々の業務は正に組織の基盤を築くも  
のと考えています。これは現情勢下で最  
も重要な任務と理解しており、更に、地  
域社会からの自衛隊に対する確実な理  
解と信頼が無ければ、この基盤を築くこ  
とは不可能であると認識しています。し  
たがって、我々の任務の本質は信頼関係  
の構築といつても過言ではありません。

依然として新型コロナウイルス感染拡大  
の収束が見えない中ではありますが、地  
本部員が「県民とのかけはしになる」に  
は部内外との連携強化が欠かせません。  
そのためにも、尊敬の念をもって人々と  
接し、相手の話を良く聴き、引き続き信  
頼関係の構築に努めていきたいと思いま  
す。

結びに、本年も変わらぬご支援ご協力  
を賜りますようお願い申し上げますと  
ともに、皆様にとって輝かしい希望に満  
ちた1年になりますようお願い申し上げ  
、新年のご挨拶と致します。



長崎県防衛協会 会長  
長崎県知事 大石 賢吾

新年明けましておめでとうござい  
ます。

自衛隊長崎地方協力本部の皆様、県  
内の陸海空自衛隊の皆様、並びに長崎  
県防衛協会をはじめ自衛隊協力団体  
の皆様におかれましては、輝かしい新  
年をお迎えのことと、心からお慶び申  
し上げます。

自衛隊長崎地方協力本部におかれま  
しては、昭和30年に長崎地方連絡部と  
して設立されて以来、長きにわたり、自  
衛官の募集や就職援護活動をはじめ、  
災害対応や国民保護業務における自  
衛隊と県内自治体等との連携にご尽  
力いただき、心から感謝を申し上げます。

本県におきましては、海上自衛隊第  
22航空群による離島地域からの急患  
搬送は、昭和33年の開始からすでに約  
5200回を超えるなど、多くの県民  
の命を救っていただいておりますこと  
に深く感謝申し上げます。また昨年2  
月には大村市に所在する陸上自衛隊  
竹松駐屯地への水陸機動連隊の配置決  
定のお知らせを防衛省よりいただき、  
国境離島を始め多くの離島を有する  
当県としましては非常に心強く思っ  
ております。

改めて申し上げるまでもなく、自衛  
隊におかれましては、わが国の平和と  
安全を守ることはもとより、災害等へ  
の派遣活動、国際平和維持活動へのこ

参加など大変重要な任務に日々精励  
されております。

国際情勢も一層厳しさを増すなど、  
国内では、大規模・広域化する災害が  
頻発しており自衛隊皆様のご活躍は、  
国民・県民のみならず、国際社会からも  
厚い信頼と大きな期待が寄せられて  
おります。

どうか隊員の皆様には、国の安全を  
守り、国民の生命・財産を守るため、引  
き続きご活躍をいただきますようお  
願いを申し上げますとともに、本県の  
安全安心の確保に向けた取組に対し  
ましても、さらなるお力添えを賜りま  
すようお願い申し上げます。

結びに、自衛隊長崎地方協力本部、県  
内の陸海空自衛隊、並びに長崎県防衛  
協会をはじめとする自衛隊協力団体  
の更なるご発展と、新しい年が関係皆  
様方にとりまして素晴らしい一年とな  
りますことを心からお祈り申し上げます。  
新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人長崎県自衛隊家族会  
会長 浦田 正

令和5年度 輝かしい新年を迎えて  
明けましておめでとうございます。

自衛隊長崎地方協力本部の皆様、県  
内の陸上海上・航空自衛隊の皆様、並  
びに自衛隊協力団体・家族会の皆様  
におかれましては、輝かしい新年をお迎  
えの事と、心からお慶び申し上げます。

令和4年度は、国内で豪雨被害・新型  
コロナウイルス感染症で被災等された  
方に新年早々でありますですが哀悼の意  
を申し上げます。

救援復興活動等に自衛隊の活動や離  
島防衛も重視されており、海外での水  
上部隊による派遣海賊対処行動・情報  
収集活動等あってエネルギー供給ルー  
トの確保任務も重要であり、私達が日  
常生活を送れるのも自衛隊の行動あっ  
てのものご感謝申し上げます。

令和5年度は、公益社団法人自衛隊  
家族会の事業として、自衛隊との家族  
支援調整が一日も早く達成出来る様  
に取り組みを願い、災害派遣に従事す  
る隊員が、家族の事を安心して任務遂  
行出来るようにとの思いです。

安全保障においても、依然として、東  
シナ海、尖閣諸島周辺での中国の身勝  
手な行動、北朝鮮による弾道ミサイル  
発射及び新型コロナウイルス感染症等諸問題の  
状況の中で、離島防衛も重視される昨  
今であり、国民の安全確保、領土・領海  
の維持の為に、水陸機動団が重視され、

離島防衛訓練も順調に進んでおり今  
後、関係協力団体と連携を持ちなが  
ら、自衛隊を支えて行く事で家族会は  
身近な存在であると思っております。

令和5年度は、「家族会が隊員に最も  
身近な存在である会」としての充実を  
図ってまいります。

皆様方の今後のご健勝とご多幸を心  
より祈念申し上げ、新年の挨拶と致し  
ます。

◎家族会の心構え  
「自らの国は自ら守る防衛意識  
を高めよう」  
「自衛隊員募集・就職援護と家族  
支援に協力」  
「会員数を増大し組織の活動力  
を高めよう」





長崎防衛協会

会長 渡邊 悦治

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、令和5年の輝かしい新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、国際社会の平和と安定にとつて衝撃的な事案が生起しました。北京冬季オリンピック、パラリンピックという平和の祭典の最中に、ロシアがウクライナに軍事侵攻するという暴挙が、国際社会に大きな衝撃を与えたのです。国連安保理常任理事国であるロシアのこの暴挙は、国連安全保障理事会が国際社会の平和と安定のため、まったく機能することができないことを我々に示唆しました。この紛争の終結は本稿執筆中は未だ見えていませんが、一刻も早くウクライナの平和が回復することを願うばかりです。

一方、我が国周辺地域の情勢に目を転じますと、中国は、昨年10月の共産党大会で、習近平国家主席は異例の3期目に突入しました。その習主席は、台湾について和平統一を前提としながらも武力行使による統一を放棄しない考えを明らかにし、これまで以上に台湾をめぐる情勢は緊迫しています。さらにその翌月には、迷彩服を着て共産党中央軍事委員会作戦指揮センターを訪れ、「戦争に勝利する能力を向上させよ」と強調し、東アジア周辺地域の情勢は、極めて不透明、不確実な情勢となっております。

このように激動する世界情勢の中、自衛隊の皆様におかれましては、昼夜を問わず、年末年始に関わらず、今、この瞬間も我が国周辺の海空域の警戒監視を継続されるときも日本から遠く離れた海外で、厳しい任務に従事しておられます。

自衛隊の皆様のみならず、我々国民にもこれら内外の急激に変化する状況下において、いかなる情勢にも冷静かつ迅速に対処する姿勢を貫く覚悟が必要であると思います。

長崎防衛協会は、名実ともに『行動する防衛協会』として今後一層の熱意を持って、防衛思想の普及に努め、自衛隊の隊員の皆様の生の声を聴取できる部隊研修を積極的に推進するとともに、部隊指揮官等の方々の講演の機会を設けて、自衛隊の活動への理解をより深めてまいりたい所存です。

今年も、自衛隊長崎地方協力本部の協力を得て、積極的に自衛隊の支援、防衛思想の普及に邁進したいと思っております。今後とも、関係各位のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、全国に所在する防衛省・自衛隊隊員の皆様の今後益々の活躍とご安全を心からお祈り申し上げますとともに、当協会会員をはじめ関係者皆様にとりまして、良一年となりますように祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人隊友会 長崎県隊友会

会長 江見 雅博

明けましておめでとうございます。長崎地方協力本部の皆様及び同OB会会員の皆様にはご家族おそろいで、新年を迎えられたことと、心からお喜び申し上げます。皆様にとつて、今年が平和で平穏な年であることを祈ります。

令和4年もまた、昨年に続き中国からやってきた新型コロナウイルスのため、日本中が大きな混乱の中にあります。ようやく第7波が終息しつつあるようですが、第8波も予想されており、まだまだ、コロナ前に戻るには時間がかかりそうです。

令和4年の隊友会の活動は、新型コロナウイルスの影響を受け、行事を中止または延期せざるを得ない状況でした。その中にあつても長崎地方協力本部の積極的なご支援を頂き、7月に殉職隊員追悼式を斎行できましたことは、偏に皆様のご協力の賜と感謝申し上げます。

今年も、2月にロシアによるウクライナ侵略が生起しました。隣国ロシアによる暴挙は我が国の安全保障を速やかに再構築しなければならぬことを教えていますが、なかなか進んでいないようが残念です。北朝鮮の核の脅威は従前と変わらず、中国の現状変更の試みも台湾情勢や尖閣諸島の侵犯状況を見ても分る通り、依然続いていきます。また、大規模災害も各地で頻発しており、自衛隊の置かれている環境は、コロナの影響を受け、とみに厳しく

なっています。その中で国民の97%以上が自衛隊に期待し、信頼を寄せていることを考えると、現役自衛官の高い緊張感を持って勤務するご苦労に、国民の一人として、感謝申し上げますところ です。

自衛隊員が誇りを持って勤務に邁進できる環境や、任務遂行の装備の充実に向け、隊友会としても積極的に取り組んでいるところです。

隊友会は、自衛隊と国民の架け橋となることを目標に掲げております。長崎県隊友会としては、最強の支援団体たるべく、防衛意識の普及高揚を図るとともに、自衛隊が働きやすい環境を作るために県民の皆様への啓蒙活動を続けてまいります。

最後に、本年が皆様にとつて、良い年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。



ソマリア沖・アデン湾の海賊対処第43次派遣部隊への激励品贈呈



自衛隊長崎地方協力本部OB会  
会長 三浦 正司

新年明けましておめでとうございませう。世界・日本の各地で日夜、任務・職務にあるいは、厳しい教育訓練に勤しまれておられる長崎県出身の自衛隊員の皆様、協力各諸団体の皆様は、新鮮な清々しい気分で新年を迎えられたものと思います。

昨年を振り返りますと、まさに激動の年であったとつくづく思えてなりません。

そしてこの事はこの1年限りとは到底考えられず、ロシアのウクライナ侵攻、中国の我が国のEEZを平気で脅かす危険極まる過剰なまでの実弾演習、北朝鮮の度を過ぎたミサイル発射等々は、我が国防に直接間接に係る事は当然であり、我が国防衛問題の根本的取組直しの必要を迫られ、如何に我が国防衛体制が世界常識からかけ離れているかを国民の方々に認識頂けたものと国防の任に就いている者、あるいは就いた者として喜ばしくまたやっとこれで国防の重要性が国論の重点になれたと意を強くしているとともに、その責任の重大さを感じなければなりません。

この事により、防衛省、自衛隊は有事の対応準備に忙殺され、緊張を強いられたものと思います。加えて、自衛隊の

編成・装備の見直しと充実、即応性の向上と戦闘・戦技能力向上のための厳しい教育訓練を求められ、一時の休みも無い状態での1年であったらうと察するとともに、その労苦に敬意と感謝を申し上げます。

引き続き、同盟国及び関係国家機関と綿密な連携のもと、国民が安全・安心に暮らせるための万端の態勢の充実に専心して頂きます様お願いいたします。

自衛隊員、防衛省関係各位におかれましては、ご家族共々夫々のご家庭で、国内外の勤務地で、故郷の実家で、警戒監視及び海賊対処などの任務の遂行中の洋上で令和5年の新年を迎えられ、この1年が皆様方にとり素晴らしい年である事を、ご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

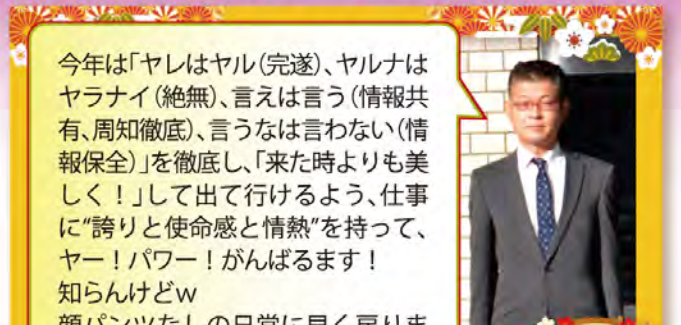


### 長崎地本各課・各所・各センター別 新年の抱負



求む！総務課希望者！  
うさぎのように、  
耳を長くして待っています！

総務課



今年は「ヤレはヤル(完遂)、ヤルナはヤラナイ(絶無)、言えは言う(情報共有、周知徹底)、言うなは言わない(情報保全)」を徹底し、「来た時よりも美しく！」して出て行けるよう、仕事に「誇りと使命感と情熱」を持って、ヤー！パワー！がんばります！  
知らんけどw  
顔パンツなしの日常に早く戻りますよおにい～  
令和5年も長崎地本をどうぞ宜しくお願いします。

副本部長



長い耳で、卵ルトラGOODな  
情報キャッチ！

援護課



ブラボーと言える様に  
自衛官の獲得にがんばります!!

募集課



皆がうれしく、  
さいこうな、  
きょうむを遂行

諫早  
地域事務所



初心を忘れず  
柔軟心を持って  
募集業務を頑張ります!

大村  
地域事務所



うわ向きに  
さいよう取るぞ  
ギアチェンジ!

佐世保  
出張所



ぴよんぴよんと  
飛躍の1年に!!

長崎  
募集案内所



健康第一!!

琴海  
地域事務所



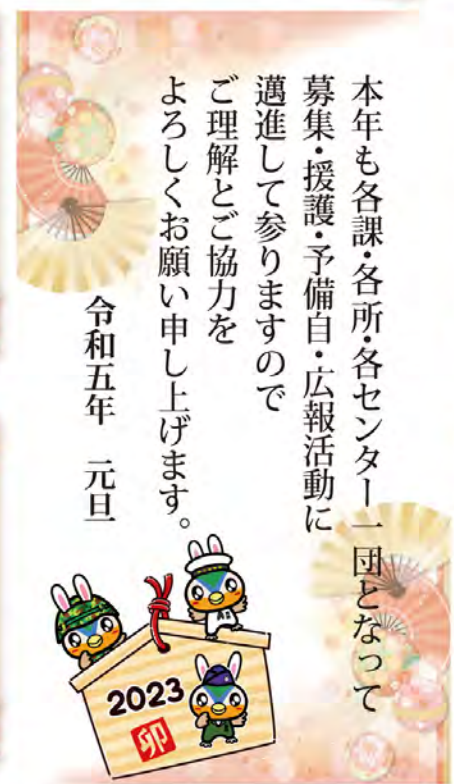
ピョンと  
飛躍できるように  
頑張るピョン!!

島原  
地域事務所



飛躍の年  
になるように  
頑張ります。

対馬  
駐在員  
事務所



地域と共に!

杵岐  
駐在員  
事務所



卯年も募集活動  
頑張ります!!

上五島  
駐在員  
事務所



兎にも角にも  
何事にも全力で  
取り組みます!

五島  
駐在員  
事務所



人生最高! 出会う  
すべてが運命の人

相浦  
駐屯地援護  
センター



今年も求職者の  
為に飛び跳ねます。

大村  
駐屯地援護  
センター



良縁を繋いで  
いきます!!

長崎  
地域援護  
センター



■護衛艦「あしがら」を背景に記念撮影

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 江上昌利1等海佐(当時)は10月22日(土)から23日(日)の間、海上自衛隊佐世保基地において佐世保地方総監部(総監 西成人海将)が企画する護衛艦「あしがら」体験航海に参加した。

第2護衛隊 護衛艦「あしがら」艦長 坂井喜一郎1等海佐)は、佐世保を母港とするイージス艦である。本艦による体験航海は両日の12時から16時の間に実施され、募集対象者等126名が参加した。イージス艦による体験航海は滅多にないため、自衛隊長崎地方協力本部の広報官18名も募集広報教育の一環として同行し乗艦した。

艦上では、海上自衛官が着用する制服などのファッションショー、手旗信号の展示、佐世保音楽隊によるアンサンブル演奏が行われ、体験航海に参加した方々からは「とても大きい」「将来、イージス艦で勤務したい」等の言葉があった。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も機会を通じて自衛隊の姿を発信し、県民の多くの方々に自衛隊の理解を深めていただくとともに自衛官募集に尽力していく。

(募集課)

# 護衛艦あしがら体験航海



■制服ファッションショー



■手旗信号の展示



■佐世保音楽隊による演奏



■体験航海の様子

# 雲仙・普賢岳防災視察登山



11月14日(月)、九州大学地震火山観測研究センターと島原市が企画する溶岩ドーム(平成新山、1483m)の現状を把握するための防災視察登山に自衛隊長崎地方協力本部 島原地域事務所(所長 堀一彦1等陸尉)から2名が参加した。警察、消防、行政を含む他の行政機関からも約65名が参加し、立入制限された警戒区域を視察した。

雲仙・普賢岳は、1996年の噴火終息宣言から26年が経過した今も山頂には高さ約30mの溶岩ドームを形成しており、その岩山の割れ目からは白い噴気が上がり、その温度は95度を観測している。参加者からは「火山活動は静かだ、安定した状態」と見解を示す一方、「小規模な水蒸気爆発のおそれはある。大雨や地震による崩壊には注意が必要」と呼びかけている。

防災視察登山は1995年から毎年春と秋に実施され、島原地域事務所は毎回参加している。今後も各関係機関との連携をすすめ、災害発生時の地域の最前線で活動するとの自覚を堅持し、島原地域事務所としての任務を遂行していく。

(島原地域事務所)

■噴火活動で形成された溶岩ドーム(平成新山)

## 本部長感謝状 受賞者の紹介

各協力団体の皆様ならびに地域の皆様におかれましては、平素より防衛省・自衛隊に対する深いご理解と御協力を賜り深謝申し上げます。各種業務において特に御功労があった感謝状受賞者を御紹介します。

### 一般功労

幼保連携型認定こども園 大浦保育園 様

### 募集功労

募集相談員 一ノ瀬浩典様  
募集相談員 永橋 朋広様  
募集相談員 松本加代子様  
公務員ゼミナール 諫早校様  
学校法人 西海学園高等学校様

### 予備自衛官功労

株式会社 ミラクル乳業 様  
有限会社 糸山ステージ工業様  
有限会社 長崎ランドエアサービス様

### 就職援護功労

株式会社 グリーンドリーム  
大村湾カントリー倶楽部 様  
シンセイテクノス株式会社様  
有限会社 岩藤清掃 様



# 3年ぶり開催 鎮西学院大学 \$2祭

諫早地域事務所が募集広報ブースを設置!

自衛隊長崎地方協力本部 諫早地域事務所(所長 我謝良彦2等陸尉)は10月29日(土)に開催された鎮西学院大学2ドル祭(学園祭)に参加し募集広報を実施した。

鎮西学院大学2ドル祭は3年ぶりの開催で、在学生による音楽フェス、お笑い芸人によるお笑いステージなどが催された。自衛隊長崎地方協力本部の募集ブースでは装備品の展示、陸海空自衛隊に関連する〇×クイズを実施した。クイズの参加者からは「へえ、知らなかった」「自衛隊はいろいろな活動をしていることが分かった」等の声が上がった。また、募集広報としてパンフレットの配布や募集試験種目の説明等を行い、ブース来訪者に対して自衛隊への理解を深めることができた。

諫早地域事務所は諫早市内の多くの若者に理解を深めてもらい、志願者増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努めていく。(諫早地域事務所)



〇×クイズブース



クイズ参加者の様子

## えきマチ1丁目佐世保20周年感謝祭 自衛隊の募集広報ブースを佐世保出張所が設置!

自衛隊長崎地方協力本部 佐世保出張所(所長 松本良輔1等海尉)は、11月3日(木)、JR佐世保駅東口にある商業施設において開催された「えきマチ1丁目佐世保20周年感謝祭」に参加した。

この感謝祭は、11月3日(木)から6日(日)の間に開催され、パン＆スイーツマルシェ及びJR九州関連企画等により多数の来場者で賑わった。

佐世保出張所は募集広報ブースを開設し、VR体験、オリジナル缶バッジ作成及びバルーンアートを実施した。お子様から大人まで楽しんで頂き、ブースには約400名が訪れた。来場した将来自衛官希望の中学生に対して募集用の総合案内パンフレットによる説明等を行ったところ、「自衛隊への入隊意欲が更に高まった」と述べていた。

佐世保出張所は、引き続き多くの佐世保市民及び募集対象者に自衛隊に対する理解を深めてもらい、志願者や入隊者の増加に繋がるよう、積極的な募集広報活動に努めていく所存である。

(佐世保出張所)



缶バッジ制作



自衛隊についての広報活動

### 人事異動

**転入 令和4年12月1日付**  
海上自衛隊 艦船補給処(横須賀市田浦港町)から 自衛隊長崎地方協力本部長へ  
**伊東 圭市** 1等海佐

**転入 令和4年11月28日付**  
護衛艦「かが」から 諫早地域事務所へ  
**横田 美幸** 2等海曹

**新規採用 令和4年12月1日付**  
相浦駐屯地 援護センターに採用  
**近藤 三佳** 期間業務隊員

**転出 令和4年12月1日付**  
自衛隊長崎地方協力本部長から 海上自衛隊 潜水医学実験隊(横須賀基地田浦地区)副長へ  
**江上 昌利** 1等海佐

**退職 令和4年10月31日付**  
相浦駐屯地援護センターを退職  
期間業務隊員 **村中 秀二**

# うさぎ 2023 年男・年女

<p>島原地域事務所 伊藤 3等陸曹</p> <p>感謝の気持ちを忘れずに頑張ります。</p>	<p>佐世保出張所 川上 2等空曹</p> <p>2等空曹川上和孝(17)卯年男の疑い。</p>	<p>総務課 池田 1等陸曹</p> <p>卯年らしく今年も、脱兎の勢いで駆け抜けます。</p>	<p>総務課 嶋田海曹長</p> <p>今年も心おだやかに過ごしたいと思えます。</p>	<p>募集課 野口 1等陸尉</p> <p>うさぎの上り坂同様「とんとん拍子」で頑張ります。</p>
<p>相浦駐屯地援護センター 近藤 期間業務隊員</p> <p>二兎を追って二兎とも得られる充実した1年にします!</p>	<p>大村駐屯地援護センター 松本 期間業務隊員</p> <p>人生、折り返し地点。情熱があればまだまだ現役!</p>	<p>総務課 今村 事務官</p> <p>年男らしく精一杯頑張ります。</p>	<p>総務課 金城 事務官</p> <p>本厄の年なので質素に過ごします。</p>	<p>募集課 中島 事務官</p> <p>今年もラーメンを食べて業務に励みます!</p>

長崎地方協力本部の  
☆公式ホームページ  
☆Twitter  
☆Instagramへは  
ここからアクセス!

令和4年12月1日現在

								<b>総務課</b>  副本部長  本部長										
								<b>募集課</b>   										
			<b>佐世保出張所</b>    		<b>長崎地域援護センター</b>    													
			<b>島原地域事務所</b>    		<b>長崎募集案内所</b>   													
				<b>五島駐在員事務所</b>  		<b>対馬駐在員事務所</b>   												
											<b>大村駐屯地援護センター</b>    							